

「ちばエコ農産物」栽培のために！ (品目別栽培カード 20)



えだまめ・マルチ栽培

千葉県農林水産部

1 栽培基準

えだまめの栽培基準は、ハウス半促成栽培、トンネル栽培、マルチ栽培、露地栽培の4作型に区分されており、化学合成農薬の使用成分回数と化学肥料使用量(窒素成分量)は表1のとおりです。

また、堆肥の施用量は、それぞれ土づくり的堆肥で1,000kg/10a、牛ふん堆肥で800kg/10a、豚ふん堆肥で300kg/10a、鶏ふん堆肥で200kg/10aが目安量とされています。(表1)



収穫直前のえだまめ

表1 「ちばエコ農産物」栽培基準における農薬の上限回数と窒素成分の上限量

(平成20年4月現在)

作 型	上 限 量		堆肥施用の目安量 (kg/10a)			
	化学合成農薬 (使用成分×回数)	化学肥料使用量 (窒素成分kg/10a)	牛ふん	豚ふん	鶏ふん	土づくり 的堆肥
ハウス栽培	3	2.5				
トンネル栽培	3	2.5	800	300	200	1,000
マルチ栽培	4	2.5				
露地栽培	5	3.0				

2 栽培基準達成のポイントと考え方

1 病虫害防除

「ちばエコ農産物」の栽培基準に適合した薬剤防除例を表2に示します。

栽培基準となる化学合成農薬使用成分回数で防除を行うためには、ダイズシストセンチュウやカメムシ類などの害虫の特徴を理解し、それぞれの発消長をよく観察して、適期に防除することがポイントです。栽培基準を達成するためには、殺虫剤の使用回数を減らすことが重要です。病害では、特に問題となる病害はありません。

連作は避ける

主要害虫であるダイズシストセンチュウの加害を防ぐためには、連作を避けて土壌中の密度を減らすように努めます。

土壌消毒を行う

D-Dを10a当たり20（2m²/穴）使用し、土壌中のダイズシストセンチュウの密度を減らすように努めます。

カメムシ類の飛来状況を早期に把握し、効果的な薬剤防除を行う

カメムシ類の加害を防ぐためには、飛来状況を早期に把握し、害虫初発時の薬剤防除が効果的です。なお、農薬の収穫前使用可能日数には十分、注意してください。

表2 えだまめ・マルチ栽培の「ちばエコ農産物」栽培基準に適合した農薬防除例

処理時期	主要作業	薬剤名	使用量 (希釈倍数等)	対象病虫害
3月	土壌消毒	D-D	20・/10a	ダイズシストセンチュウ
4月	播種	チウラム80	2～5kg/種子1kg	立枯病
6月	上旬	トレボン乳剤	1,000倍	ダイズサヤタマバエ、マメシンクイガ、シロイチモジ
	中旬	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	マダラメイガ、カメムシ類

2 施肥

「ちばエコ農産物」の栽培基準に適合した堆肥及び肥料の施用例を表3に示します。

えだまめ栽培では、現地事例でも有機質肥料や有機配合肥料を主体とした施肥が多く、栽培基準を達成することは比較的容易です。

ただし、登録名称中に「有機」などが含まれている肥料でも、化学肥料由来の窒素を一部に含んでいることが多いので、肥料販売業者に問い合わせて、有機質由来と化学肥料由来の窒素の割合を把握しておく必要があります。

なお、本施肥例は主要農作物等施肥基準（平成16年、千葉県）に準じて作成しましたが、施肥量は各圃場ごとの土壌診断結果に基づいて決めることをお勧めします。



定植直後のえだまめ

表3 えだまめ・マルチ栽培の「ちばエコ農産物」栽培基準に適合した堆肥及び肥料の施用例

区分	製品名	保証成分量(%)			現物施用量 (kg/10a)	成分施用量(kg/10a)		
		窒素	りん酸	加里		窒素	りん酸	加里
堆肥	牛ふん稲わら堆肥				1,000			
基肥	味好1号	6.0(0)	8.0	4.0	9.0	0.5(0.0)	0.7	0.4
	落花生専用	5.0(5)	15.0	20.0	50.0	2.5(2.5)	7.5	10.0
	ようりん		20.0		39.0		7.8	
	粒状過りん酸石灰		17.0		3.0		0.5	
	硫酸加里			50.0	3.2			1.6
	苦土石灰				60.0			
総施用量						3.0(2.5)	16.5	12.0

注) ()内は、総窒素量のうち、化学肥料由来の窒素成分量



えだまめ圃場

この「品目別栽培カード」に記載した農薬使用は、平成20年度場内実証試験時点のものです。実際の農薬使用に際しては、ラベルの表示をよく確認するとともに、最新の農薬使用基準を守って使用してください。

著 作 千葉県農林水産部担い手支援課
千葉県農林総合研究センター
編集・発行 千葉県農林水産部安全農業推進課
発行年月日 平成21年3月

内容についての問い合わせ先
千葉県農林総合研究センター
TEL . 043 (291) 9987